

おらんくの

自慢大会

～発表資料～

もくじ

00 「おらんくの自慢大会」流れ	— P. 1
01 鏡地域連携協議会	— P. 2
02 下知地域内連携協議会	— P. 4
03 三里まちづくりの会・十津ふるさと会	— P. 6
04 第六ふれあいネットワークの会	— P. 8
05 介良地区連携協議会	— P.10
06 潮江南地域連合会	— P.12

※発表資料に記載の基本情報は、すべて令和5年4月1日時点のものです。



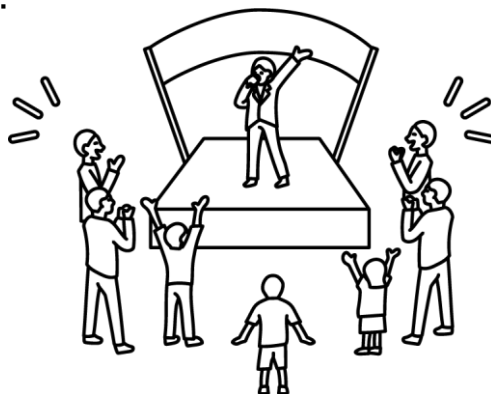
00 「おらんくの自慢大会」流れ

- ① part1, part2に分けて6団体による取組事例の発表を行います。
各発表時間は7分間です。30秒前に1回, 7分経ったら2回ベルを鳴らします。
- ② 参加者の皆様は発表を聞きながら, 以下のとおり付箋に記入してください。

黄色の付箋 ⇒ 発表団体へのひとことメッセージ
(良いと思った点やアドバイス)

ピンクの付箋 ⇒ 発表内容に対する質問
- ③ 発表が終了するごとに, 記入した付箋をA3用紙に色分けして貼ってください。
- ④ part1の3団体による発表が終わったら, 各テーブルにて発表に対する感想を5分程度で共有してください。
ファシリテーターは地域活動応援隊が務めます。
- ⑤ 各テーブルから回収した付箋を1枚の模造紙に集約し, その中から川北講師に代表して選んでいただき, 各発表団体へコメントや質問をしてもらいます。
また, 併せて, 川北講師によるご講評もいただきます。
- ⑥ part1終了後, 休憩時間を挟み, 同じ要領でpart2を行います。

★この工夫, 取組を「おらんく」(=ご自身の地域)バージョンにアレンジして取り入れることができないか, 「まずはやってみよう」というマインドを持ってお聞きいただけますと幸いです!





鏡地域連携協議会

鏡地域の基本情報

- ・人口(小学校区) 1,134 人
- ・世帯数 539 世帯
- ・高齢化率 45.6 %

年齢区分(歳)	人口(人)	割合
0~12	75	6.6%
13~64	542	47.8%
65~74	207	18.3%
75~	310	27.3%
合計	1,134	100%



1

取組の背景

鏡地域の課題

- ・少子高齢化によって地域課題が増えた



鏡地域の資源

- ・豊かな自然
- ・『個が強い』住民性
- ・活動団体
- ・複数ある活動拠点
- ・複数の広報紙による情報発信



たくさんあって書ききれない!!

鏡地域のねらい

- ・地域課題の明確化
- ・後継者の育成, 世代交代



2



取組内容

ここに^{ちから}**力**を入れています！ **自** **慢** です！

「楽しい」と思える雰囲気づくり, 雑談

工夫 したポイント

- ・『それとなく』アイスブレイクする
- ・席の配置を工夫する
- ・机のレイアウトを工夫する
- ・水分と糖分を補給する
- ・ムードメーカーを大切にする
- ・参加団体の抱える問題を共有する
- ・地域住民へお知らせする



3



成果・展望

得られた成果

- ・出席率が向上！
- ・会に来るのが『な〜んか楽しく』なった！
- ・参加団体同士の情報共有が盛んになった！



How to のひとつとして…



- ・地域活動応援隊に
どう応援してもらおうか？



今後の展望

- ・「ちょっとした困りごと」
を放置しない



4

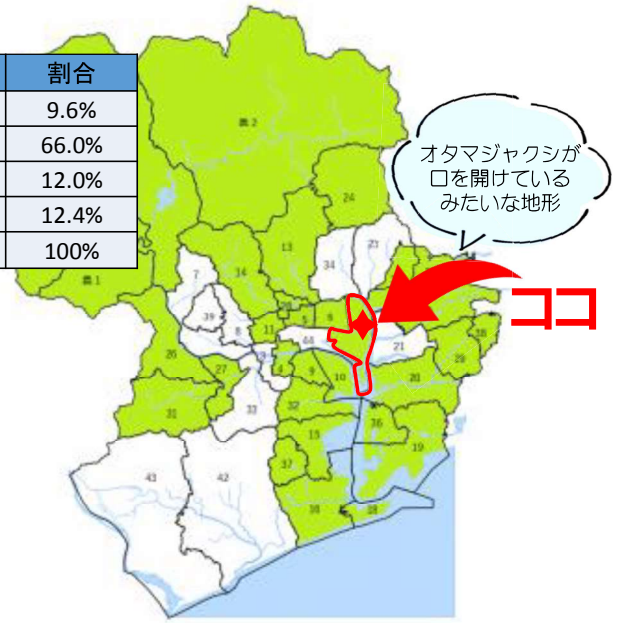
下知地域内連携協議会



下知地域の基本情報

- ・人口(小学校区) 14,369人
- ・世帯数 8,216世帯
- ・高齢化率 24.4%

年齢区分	合計	割合
0～12歳	1,387	9.6%
13～64歳	9,480	66.0%
65～74歳	1,718	12.0%
75歳～	1,784	12.4%
合計	14,369	100%



取組の背景



行事をやるうえでの課題

- ・これまでの事業をなぞっているだけでは面白みや変化がない(飽きてきた…)
 - ・次世代が生きる機会が少ない
- これまでお祭りを実施してきたけど…
- ・コミュニティの強化につながらない
 - ・知らない人を知らないままで終わってしまう

会長意見

お祭りは、気をたくさん遣って実施するのに、コミュニティの強化にはつながりづらい

つながりやコミュニティを重視する連携協でお祭りを実施するのではなく、地域で協賛などを集めながら実施の方が良さそうだ!!

行事をやるうえでの資源

- ・地域にはたくさんの方がいる
→地域に住んでいる誰かとは必ずつながっている
- ・施設や企業もたくさんある
→企業の顧客は地域住民であるため、地域の人とつながりたいと思っている

今回の事業のねらい

- ・今までやってきていないことで次世代メンバーのやりたいことに取り組む
- ・参加した人同士が確実につながれるものをする
→コンパクトに実施し、顔と名前を憶えられるようにする
- ・連携協で実施する事業だから、コミュニティの強化やつながりを重視した事業に取り組む




つながろう下知事業 の内容

「おらんの
自體大会」



この取り組み(事業)を ^{ひとこと}一言 で言うと…

楽しく つながる コミュニティの種まき 

すぐには実らないが、のちに収穫という成果を得られる取り組み



工夫したポイント(ねらい)

- ・次世代の考えをベースに組み立てる
→複数人の次世代メンバーで考える
代表は年配メンバーの説得役
- ・話題性をつくれるような事業にする
- ・全員の顔と名前を知れる規模で行う
- ・講演者の選択
→初めてなので地域に根付いた方を選択

講師として工夫したこと

- ・とにかく楽しく実施し、2部(懇親会)につなげる
- ・自分の知り合いに、なるべくたくさん声をかける
→意外とつながっていない人同士
でつながることができた!
- ・自分のことを知ってもらおうという
よりも楽しんでもらうことを重視!



つながろう下知事業の成果・課題・展望

「おらんの
自體大会」

得られた成果

- ・濃く、深くつながることができた
- ・新しい人と出会えるきっかけになった
→出会えた人同士が良かったねと思える出会いとなった
- ・“何かつながれることはないのか”を出会えた者同士で考えるきっかけになった
→「つながり」をメインとした事業を開催したため



課題

- ・つながりづくりに時間がかかる
→コンパクトな規模で開催するため、一気に大勢の人とつながることが難しい

今後の展望

- ・地域で考えないといけない問題に対して一緒に考えられるような関係を作る
- ・連携協議会や地域の団体について知ってもらい、協力してもらえようような関係に発展させていく
→責任や負担を背負わさないようなつながりに

三里まちづくりの会



十津ふるさと会

三里地域の基本情報

- ・人口(小学校区) 5,475人
- ・世帯数 3,061世帯
- ・高齢化率 42.3%

年齢区分(歳)	人口(人)	割合
0～12	310	5.7%
13～64	2,846	52.0%
65～74	953	17.4%
75～	1,366	24.9%
合計	5,475	100%



十津地域の基本情報

- ・人口(小学校区) 5,305人
- ・世帯数 2,585世帯
- ・高齢化率 32.3%

年齢区分(歳)	人口(人)	割合
0～12	492	9.3%
13～64	3,097	58.4%
65～74	818	15.4%
75～	898	16.9%
合計	5,305	100%



取組の背景

三里・十津地域の課題

- ・南海トラフ地震対策(避難など)
- ・急激な人口減少, 高齢化
- ・地域活動の後継者不足
- ・担い手の固定化・高齢化



三里・十津地域の資源

- ・浦戸湾や下田川などの海洋・河川環境
- ・各種団体の連携
- ・歴史が感じられるまち
- ・造船業, 木材業, 流通業などの工業施設
- ・病院, 文化会館, 大学など公共・公益施設が豊富



みさとフェアのねらい

- ・地域の交流(つながりづくり)と防災意識の高揚を一緒に!
- ・地元小中学生に地区の良さを体験⇒地域に愛着を!





みさとフェアの取組内容



ここに **力** を入れています！

- ・地域資源を活かしたイベントづくり
⇒浦戸湾でシーカヤック体験
- ・防災に関する様々な体験ブース

工夫したポイント

こどもも楽しめる × 防災

三里と十津で協力して開催！



3



成果・課題・展望



得られた成果



- ・みさとフェアの参加者1,000人程度
つながりづくり！
⇒地域の防災意識の醸成！
- ・小中学生に地元の良さを知ってもらえた
- ・様々な団体の連携・協力につながった
- ・三里地域と十津地域が共同開催することで、
スタッフの確保、役員の負担軽減
につながった

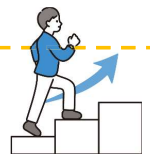
課題

- ・担い手の高齢化
- ・予算確保
- ・感染症の影響



今後の展望

- ・後継者との協力体制
- ・学校、PTAとの協力体制
- ・行事の継続



4

第六ふれあいネットワークの会

基本情報

人口(小学校区) 3,743 人
世帯数 2,125 世帯
高齢化率 29.7 %

年齢区分	合計	割合
0~12	348	9.3%
13~64	2,284	61.0%
65~74	477	12.8%
75~	634	16.9%
合計	3,743	100%

市役所や県庁など
官公庁が近く便利

ココ

龍とそばかすの姫で
取り上げられた鏡川

升形商店街や出雲大
社, お城下などの風情
あるまち並み



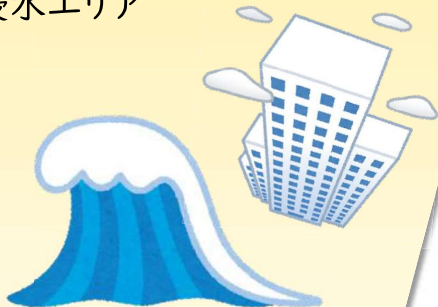
1



取組の背景

課題

- ・地域住民の高齢化, 過疎化
- ・高層マンションの増加等による
人と人とのつながりの希薄化
- ・津波浸水エリア



強み

地域活動に協力的な

学校長



元気で明るい

こどもたち



2



取組内容



第26回



★工夫したポイント★

- ① これまで地域の区民運動会として実施⇒防災要素をかけ合わせ!
- ② 運動会を盛り上げる餅なげ♪ 空くじなし!お楽しみ抽選会♪
- ③ 会場参加率100%地域住民全員が関われる競技!人文字♪

3



成果 ■ 課題 ■ 展望



得られた成果

- ・参加者数の増加!!
- ・小学校の卒業生やお年寄りも参加してくれた!!
- ・全員参加の競技(人文字)をきっかけに地域の一体感が!!

課題

マンションにお住まいの方の参加率が少ない

今後の展望

常連さんはもちろん、初めての方も参加できる運動会に!!
防災をとおして地域の安全安心につなげていく!!

4

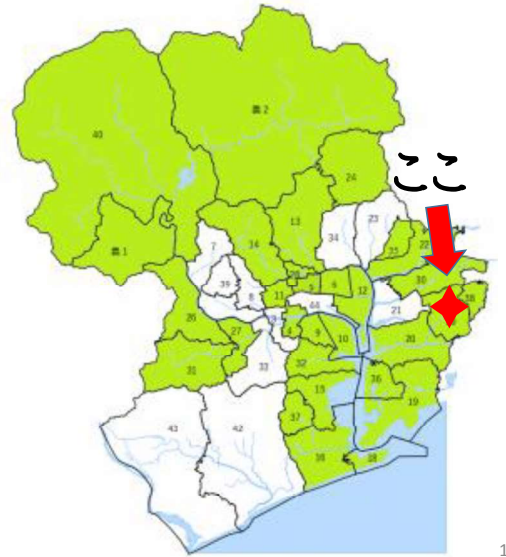
介良・高知市合併50周年記念事業 介良地区連携協議会

「おらんく」の
自體大会

介良・介良潮見台地域の基本情報

- ・人口 12,566人
- ・世帯数 5,913世帯
- ・高齢化率 28.3%

年齢区分(歳)	人口(人)	割合
0~12	1,214	9.7%
13~64	7,796	62.0%
65~74	1,705	13.6%
75~	1,851	14.7%
合計	12,566	100%



1

取組の背景

- ・2022年2月1日、介良・大津地区は、高知市合併50周年を迎える



大津会長

「介良は、50周年なににするでえ？」

- ・当時、介良では全く声も上がって
いなかった
- ・50周年ということを知らなかつ
たという声も



連携協で音頭を取ってなにかやろう！



- ・コロナに翻弄されながらも、動き出す！



- ・住民説明会では…



- ・2021年12月に設立総会を迎える

取組内容

その他にもたくさんの事業を行いました！



2022年5月 記念式典



史跡紹介掲示板の修繕



記念植樹

保育園, 小・中学校,
地域の関係団体, 行政が
力を合わせて運営！



2023年1月 記念誌発行



屋外活動等の組立式テントの購入



介良の歴史教材の作成

3



成果・課題

得られた成果

- ・介良地区の**団結力**と**教育力**を高めた
- ・貴重な体験と共に介良の歩みを学び、**人とつながる大切さ**を経験できた



課題



- ・地域住民への情報の周知の仕方
- ・多くの人に関わってもらうには…
- ・今回の取り組みに対する住民の評価は、20年後, 30年後に得られるのではないか

4

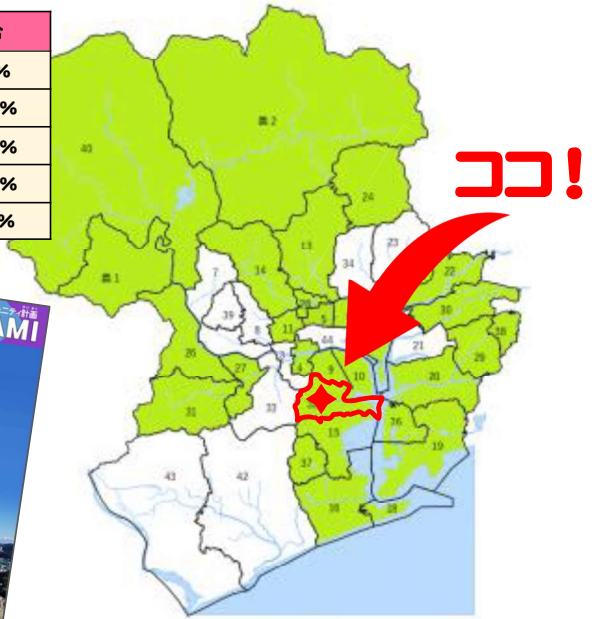
潮江南地域連合会(みなみ連合)

「おらんの
自慢大会」

潮江南地域の基本情報

- ・人口(小校区) 6,914人
- ・世帯数 3,832世帯
- ・高齢化率 34.5%

年齢区分	合計	割合
0~12歳	550	8.0%
13~64歳	3,975	57.5%
65~74歳	1,031	14.9%
75歳~	1,358	19.6%
合計	6,914	100%



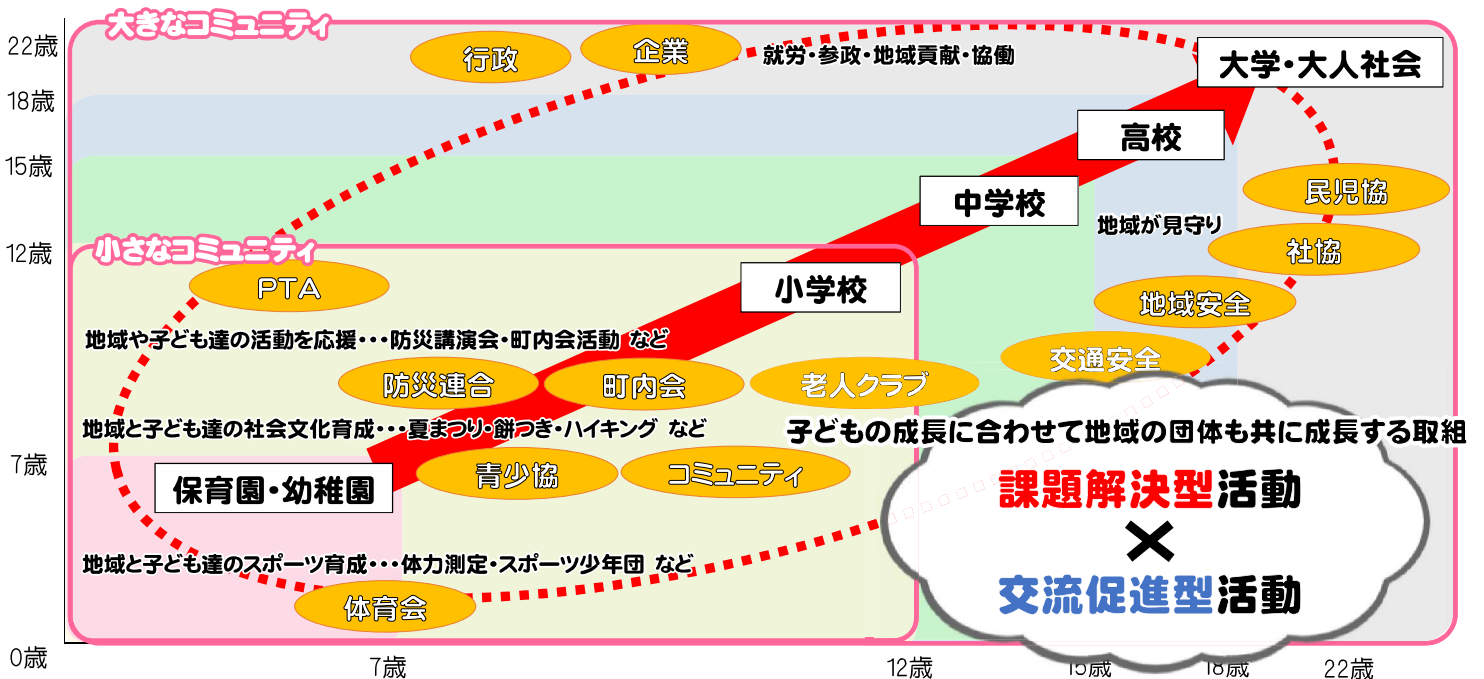
1

取組の背景

～成長過程に合わせた地域の支え～

「おらんの
自慢大会」

□ …拠点 ○ …関わる団体 文字 …関わる地域活動



2

取組内容

取組の特徴

地域に関する課題に合わせて、**課題解決型活動**と**交流促進型活動**の双方を実施し、地域課題に対して継続的に対応できるように工夫!

→取組ごとに実施するのではなく、7つの柱で構成する(予算も)!!

「おらんの自慢大会」

- 一、子供たちの学習支援
休日(長期休業)等での学習支援や「居場所」づくり。
- 二、子供たちの生活支援
子ども達の朝食や昼食などの支援「みなみ食堂」の開設。
- 三、地域防災の取り組み
地域全体の防災訓練や自主防災の強化。
- 四、地域コミュニティ強化
子どもから高齢者まで、地域における異世代間の交流。
- 五、地域安全・環境整備
住みよいまちづくり。見守り隊、校外学習、花壇等の整備など。
- 六、地域住民の健康増進
老若男女、地域住民の体力の維持増進。
- 七、地域学校協働本部
児童に係る諸課題を地域が丸となって対応し、地域の核となる学校を拠点とするコミュニティを構築する。

『みなみ連合』では、みなさまから様々な提案や地域に関する課題について協議し、課題解決の為に取組を行います。



工夫したポイント

- **地域課題の解決**を目標としているため、事業ごとに実施するのではなく、**柱(項目・分野)**で事業を実施し、柱(項目・分野)ごとの課題解決に努める
- それぞれの取組は密に関わっているため、柱を網羅することでまちづくりにつながる

成果・課題・展望

成果

- 1) 地域課題に対して必要な取組が実施できる
→柱(項目)で分類することで、発生した課題に対し、柔軟に対応することができる
- 2) 大きい事業(お祭りなど)に対して費用を使うのではないため、活動を継続できる
- 3) 子どもの成長に合わせた取組をしているため、親を巻き込んで取り組める

課題

- 1) 南海トラフ地震による災害・長期浸水
地域の海拔は約0~1m、かつ旧耐震住宅や住宅密集が多く、3階以上の建物も少なく災害時の住宅倒壊や津波での避難が難しい。
- 2) 高齢化率が高い
地域の高齢化率は、30%を超え、少子化や若い世代の県外流出が著しい。
- 3) 厳しい状況の家庭や就学援助が高い
家庭状況や子どもたちの学力が厳しく、進学や就職などにおける悪循環により、地域への定着感が弱い。

展望

地域の課題に対して、即効的な解決や効果を得るためには継続また育成する社会環境と循環が必要。

- 1) 地域の人材育成をすれば・・・
将来を担う地域の人材育成が必要→「子どもたちの生活・学習」支援
- 2) 育成する人材を発掘すれば・・・
育成する人材とは、経験や知識が豊富にある高齢者の活用→「健康増進」の場
- 3) 地域が健康であれば安心・安全なまちに・・・
地域全体が心身ともに健康になることで地域コミュニティも活性化し、安心・安全なまちづくりができることに繋がる。

<イメージ図>



他にも、各地域の取組を
地域コミュニティ推進課HP
にて紹介しています！

下記の二次元コードから
ぜひご覧ください♪



